

結論からわかる

抗菌薬

CONTENTS

はじめに	3
細菌マップの見かた	7

第1章 各疾患への抗菌薬治療

1 市中発症の肺炎（CAP）	12
2 院内発症の肺炎（HAP）	19
3 人工呼吸器関連肺炎（VAP）	24
4 市中発症の腎盂腎炎と前立腺炎	29
5 院内発症の腎盂腎炎と前立腺炎（CA-UTIを含む）	36
6 感染性心内膜炎（IE）	42
7 皮膚軟部組織感染症（蜂窩織炎と丹毒）	49
8 壊死性皮膚軟部組織感染症（NSTI）	54
9 胆管炎	61
10 胆嚢炎	69
11 CD感染症（CDI）	74
12 市中発症の腸管感染症	80
13 腹膜炎（一次性と二次性と三次性）	86
14 カテーテル関連血流感染（CRBSI）	92

15	髄膜炎と脳炎	100
16	頭頸部感染症（風邪ではないもの）	107
17	感染巣不確定の敗血症	113
18	婦人科感染症（PID）	119

第2章

感染症診療について 明文化されていない多くのこと

1	主たる輸液製剤との相性	124
2	電解質の考え方	127
3	他職種（看護師・薬剤師など）の手間	129
4	患者さんの負担（投与回数など）	132
5	薬剤供給と院内在庫	134
6	どこの施設でもとりうる選択肢か	138
7	溶解液の選択	146
8	体液量の考え方	150
9	内服薬へのステップダウン	151
10	ルート確保が困難なとき	155
11	抗菌薬を投与する順序	160

用語索引	164
------	-----

薬剤索引	167
------	-----